

2017年1月16日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 石田 健一

カンボジア国プノンペン - バベット高規格幹線道路整備事業
(協力準備調査(有償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2016年12月2日(金)14:02~15:36
- ・場所：JICA本部(1階111会議室)
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、織田委員、谷本委員、升本委員
- ・議題：カンボジア国プノンペン - バベット高規格幹線道路整備事業準備調査に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) カンボジア国プノンペン - バベット高規格幹線道路整備事業準備調査報告書に係るDFR案事前配布資料(住民移転計画案を含む)
 - 2) 環境影響評価報告書
 - 3) スコーピング案への助言対応表
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010年4月)

全体会合(第76回委員会)

- ・日時：2017年1月16日(月)14:31~15:37
- ・場所：JICA本部(1階111・112連結会議室)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

環境配慮

1. 土取場の跡地は、養殖池、灌漑ため池等への転用が予定されているが、工事中の土砂採取期間には、子供等の転落事故の発生も予見されることから、それに対する緩和策をFRに記述すること。
2. 騒音レベルについては、供用後モニタリングを通じて確認を行い、環境基準を超える場合には関係機関と連携して対応策を講じるよう、FRに記述すること。

社会配慮

3. 供用時のジェンダーや子供の権利への影響として、交通が便利になれば人の移動も増え、人身取引等が増える危険性があることをFRに記述すること。

その他

4. 結論と提言の章に、環境社会配慮（特に住民移転）に係る事項も含めて記述すること。

以上